

教科・領域	体育	学校・学部	特別支援学校（知的障害）小学部
単元名	たくさん走ろう		
単元のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の手本をみて、ラジオ体操をする（準備体操） ・つかまらないように速く走る（鬼ごっこ） 		
I C T 機 器 の 活 用			
使用する機器等	ビデオカメラ、iPad、テレビ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・映像で手本を示すことで、児童が手本に注目し、ラジオ体操ができるようにする ・物語を事前に知ること、鬼（オオカミ）から逃げ、つかまらないように速く走ることができるようにする 		
実践	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてラジオ体操をする児童がいたため、教師の動きに注目して真似ることができるよう、より注目しやすい、映像で手本を示した 〔ビデオカメラ、大型テレビ〕 		
（機器の使い方や工夫）	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼（オオカミ）は怖いということがわかるよう物語を事前に見せた ・絵本アプリ（「さんびきのこぶた」中川ひろたかの名作おはなし絵本）を使用した。声を録音することができるため、児童や授業に合わせた速度で読み聞かせをした ・児童が物語を見ている間に、教師は鬼（オオカミ）や集まる場所の準備をした 〔iPad、大型テレビ〕 		
効果改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・映像に注目し、動きを真似てラジオ体操をする児童が増えた ・ラジオ体操の動きを覚え、映像がない状況でもすることができた ・物語を事前に示すことで、鬼（オオカミ）から逃げ、全力でゴール（こぶたの家）に向かって走る姿が見られた ・児童が注目しやすく、期待する気持ちが大きい分、操作を事前にしっかりと確認し、待ち時間や無駄がないようにしなければならない 		

